対=対象　日=日時　期=期日・期間　時=時間　曜=曜日
所=場所　内=内容　テ=テーマ　講=講師　定=定員
費=参加費・受講料　持=持ってくるもの　抽=抽選　申=申し込み
選=選考　他=その他　問=問い合わせ

行けば知識の泉湧く

知ろう、学ぼう、昔の長崎

歴史上の出来事と、目の前のモノゴトがつながる瞬間…わくわくしませんか？

長崎学研究発表会

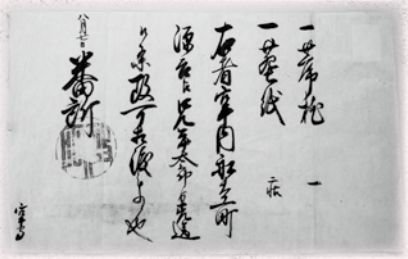
長崎学研究所（☎818-8388）

「長崎学」とは、長崎市域を出発点とする長崎の歴史や文化に関する学問・研究のことです。長崎学に関する、今年度の研究成果を発表します。
市内小学生の郷土研究を顕彰する、長崎学児童研究コンクール入選者の表彰式も開催。
参加無料。直接会場へ。

期 2月11日（祝）
時（表彰式）午前9時30分～10時30分
（発表会）午前10時40分～午後0時30分
所 長崎歴史文化博物館1階ホール
テ・講
①長崎代官支配「小島牢」の成立と展開
（市長崎学研究所主幹 赤瀬浩）
②赤岳の潜伏キリシタン墓碑群について
（長崎史談会幹事長 村崎春樹氏）
③長崎における炭坑・鉄道・橋梁（きょうりょう）の観光資源化と活用策
（長崎近代化遺産研究会理事 菊森淳文氏）
※総括講評　長崎大学教授 木村直樹氏

潜伏キリシタン墓碑群

南洋井坑（せいこう）排気坑跡


牢屋手頭
長崎歴史文化博物館蔵

遠藤周作文学館　文学講座

遠藤周作文学館（☎0959-37-6011）

日 3月4日（土）午後2時～3時30分
所 遠藤周作文学館　第Ⅱ展示室
テ「遠藤周作『沈黙』の世界 ― 長崎の歴史の視点で読む ―」
講 長崎県長崎学アドバイザー 本馬貞夫氏
定 60人
費 無料（入館料は別途必要）
申 3月1日（水）までに電話かFAX（0959-25-1443）で。

遠藤周作
×
マーティン・スコセッシ
「沈黙」展

期 3月31日（金）まで
※文学講座開催時は観覧できません。

〈広告〉

シーボルト記念館　名品展

シーボルト記念館(☎823-0707)

シーボルト記念館が所蔵する資料から、重要文化財などの選りすぐった名品を展示。
期 2月10日(金)～4月2日(日)
※月曜は休館(祝日の場合は開館)
時 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)
費 (観覧料)大人100円、小学生以下50円

眼球模型
(国指定重要文化財)

シーボルト妻子像螺鈿合子(らでんごうす)
(国指定重要文化財)

企画展
「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」

長崎歴史文化博物館(☎818-8366)

シーボルト肖像(部分)
ブランデンシュタイン=ツェッペリン家蔵
©Brandenstein-Zeppelin Family Archives

ドイツ・ミュンヘン五大陸博物館が所蔵する、7,000点に及ぶ日本関係資料の調査成果をもとに、シーボルトが構想した「日本博物館」の再現を試みます。
期 2月18日(土)～4月2日(日)
※3月13日(月)は展示替えのため休室
時 午前10時～午後6時(最終入館は午後5時30分)
費 (観覧料)大人1,200円、
高大生・シニア[70歳以上]700円、
中学生以下無料

花鳥図衝立
ミュンヘン五大陸博物館蔵
©Museum Fünf Kontinente, Munich(MFK)

報告会
「ドイツに残るシーボルトコレクションの魅力」

長崎歴史文化博物館(☎818-8366)

聴講無料。直接会場へ。
日 2月25日(土)午後2時～5時30分
講 国立歴史民俗博物館教授 日高薫氏・青山宏夫氏、
長崎純心大学教授 宮坂正英氏、
長崎史談会会長 原田博二氏
定 140人

日本植物誌(オタクサ)
ブランデンシュタイン=ツェッペリン家蔵
(展示期間:3/14～4/2)
©Brandenstein-Zeppelin Family Archives

長崎学講座スタンダード
「橋の向こうに出島が見える～旧出島橋の変遷と構造～」

長崎歴史文化博物館(☎818-8366)

聴講無料。直接会場へ。
日 2月26日(日)午後2時～3時30分
講 市出島復元整備室 山口美由紀
定 140人

〈広告〉